

## 貸借対照表

平成 25 年 9 月 20 日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
【流動資産】	【 270,601,929 】	【流動負債】	【 304,742,138 】
現金及び預金	7,345,928	支払手形	146,080,027
売掛金	163,089,885	買掛金	70,975,967
製品	70,504,956	1年以内返済長期借入金	5,220,000
原材料	22,829,008	未払金	56,822,393
貯蔵品	1,470,350	未払費用	6,100,610
前払費用	237,122	設備未払金	408,335
立替金	826,394	預り金	1,339,956
未収入金	200,000	未払法人税等	9,781,700
未収消費税等	1,300,400	賞与引当金	8,013,150
繰延税金資産	4,597,886	【固定負債】	【 15,501,409 】
貸倒引当金	-1,800,000	長期未払金	2,970,000
【固定資産】	【 81,437,009 】	長期借入金	2,170,000
(有形固定資産)	( 54,720,061 )	資産除去債務	9,461,099
建物	26,831,597	繰延税金負債	900,310
構築物	1,086,088		
機械装置	24,365,011	負債の部合計	320,243,547
工具器具備品	2,437,365	純資産の部	
(無形固定資産)	( 2,904,687 )	【株主資本】	【 29,227,464 】
電話加入権	150,586	(資本金)	( 38,000,000 )
ソフトウェア	2,754,101	資本金	38,000,000
(投資その他の資産)	( 23,812,261 )	(利益剰余金)	( -8,772,536 )
投資有価証券	13,978,815	繰越利益剰余金	-8,772,536
関係会社株式	3,141,000	【評価差額金】	【 2,567,927 】
差入保証金	6,692,446	株式等評価差額金	2,567,927
		純資産の部合計	31,795,391
資産の部合計	352,038,938	負債及び純資産の部合計	352,038,938

## 個 別 注 記 表

自 平成 24 年 9 月 21 日  
至 平成 25 年 9 月 20 日

### 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法  
有価証券の評価基準及び評価方法  
ア 時価のあるもの  
決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法によって処理し、売却原価は移動平均法により算定しています。）  
棚卸資産の評価基準及び評価方法  
評価基準は原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっております。  
製品・原材料は総平均法、貯蔵品は最終仕入原価法
2. 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産 法人税法の規定による定率法、ただし、建物の一部は定額法  
無形固定資産 自社利用のソフトウェアについては、社内における見積利用可能期間（5年）に基づく定額法
3. 引当金の計上基準  
貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により計上するほか、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しています。  
賞与引当金 従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額及びそれに対応する社会保険料の会社負担分を計上しています。
4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項  
リース取引の処理方法  
リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。  
消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。